

MESA/BOOGIE®



Owner's Manual

使用上のご注意

- ・ この説明書をお読みください。
- ・ この説明書をなくさないように保管してください。
- ・ 注意事項全てを読んでからお使いください。
- ・ 安全事項に従ってください
- ・ 水の近くで当製品を使用しないでください。
- ・ 汚れた時は乾いた布で拭いてください。
- ・ 適切な電源アダプター、またはユニバーサル電源(ペダルボード電源)を使用し、電圧、電流および接地方式に適切な注意を払ってお使いください。不適切な電圧/電流での使用は、音への悪影響、不安定な動作、本体へのダメージ、またはそれら全ての原因となる可能性があります。適切な電圧、電流、接地方式は、この説明書の最後に記載された仕様を参照してください。
- ・ 電池交換後、またはスイッチの調整を行った後は、再度使用する前に必ず裏蓋を元通りに取り付けてください。内部には静電気に弱い電子部品が使われており、カーペット等の導電面との接触によって生じるわずかな静電気でもダメージを受ける可能性があります。裏蓋を外してスイッチ切り替えを行い、BOOST状態とNORMAL状態の比較を行う場合は、本体を天地逆にしてご使用ください。決して裏蓋を外したまま、電源が入った本体をコントロールボタンが上にくる状態で置かないでください。

この度はMESA/Boogie製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。そしてMESAファミリーへようこそ!優れた製品を作り上げることへの情熱、品質へのこだわり、カスタマーサポートにかける献身は、アメリカ、カリフォルニア州ペタルマにある私達の唯一無二の工場で作っている全ての製品の中に息づいています。あなたの手に行っているそのペダルは、世界最良のアンプを作っているのと同じ職人達によるハンドメイドの製品で、アンプと同様のサポート体制が用意されているものです。何かあれば、いつでも私達にお知らせください。そしてこの製品で思い切り楽しんでください!

THROTTLE BOX™

THROTTLE BOXは、GAINが最重要視された製品です。このケダモノ級のペダルはロックやメタルに最適な切れ味や攻撃性を提供しながらも、MESAの製品全般に共通する温かみやオーガニックな音質を維持しています。ヘヴィーなサウンドを一番の強みとする一方、THROTTLE BOXは多彩な用途に適しており、クラシックロックや、リズム、リード共にハウリングするブルースに最適な低域のGAINコントロールも見逃せません。GAINコントロールの中域はタイトで刺すようなモダンクランチサウンドで、押しの強い打楽器的な音作りに適しています。さらに、このペダルでメタルを演奏する際に、GAINコントロールを2時以降に設定すれば、ヘヴィーロックのホットロッドサウンドとなり、激しいゲインと焼けつくような高域の倍音が得られます。

FEATURES & CONTROLS

IN: 本体の楽器側インプットは¼" フォンジャックです。高品質のシールドケーブルでギターのアウトプットと、このジャックをつないでください。このジャックはスイッチタイプになっており、ケーブルが差し込まれるとサーキットがONになります。ケーブルが差し込まれ、サーキットが起動すると、内部電池からの電源供給が始まります。使用していない時は、インプットジャックからケーブルを抜いておくようにしてください。

NOTE: 内部電池は、インプットジャックのスイッチ機能により、ON状態(電圧がかかった状態)になります。電池を長持ちさせるためには、使用していない時はインプットジャックからケーブルを抜いておくようにしてください。

NOTE: ペダルボード上での使用など、インプット側を常に接続状態にしておきたい場合は、9V ACアダプターで外部からの電源供給を行うことを推奨します。9V ACアダプターを用いた場合、内部電池との接続は自動的に遮断され、消耗を避けようとします。本体をペダルボード上に設置し、長期に渡って外部電源での電源供給を行う場合は、内部電池を取り外し、腐蝕を防ぐようにしてください。

OUT: この $\frac{1}{4}$ " フォンジャックが本体のアウトプットとなります。この端子にシールドケーブルを接続し、ケーブルの反対側をアンプまたはペダルボード上の他の装置のインプット側に直列で接続します。

NOTE: ケーブルについて: 本製品に使用するケーブルは、最高品質の、できるだけ短いものを選ぶようにしてください。それにより、特に高域のロスによるサウンドへの影響が最小限に抑えられます。これはケーブルが長くなればなるほど、静電容量が増加するためです。そのため、MESAでは楽器とアンプインプットとの間で使用するケーブルは、長さの合計を約6m以内とすることを推奨しています。それより長いケーブルを使用する場合は、音質を保つためにバッファーカラインドライバーの使用を検討することをおすすめします。これらの使用による音への影響も多少はありますが、高音域のロスよりは一般的に良いとされています。コネクター部もケーブルの合計の長さを含めてください。

LEVEL: これは出力レベルのマスターコントロールで、アンプ側に送られるシグナルの量を決定するものです。ハイゲインセッティングで使用している時にバランスを調整し、バイパスに切り替えた時でも音量が急激に上がることがないようにします。また、故意にLEVELを上げてアンプ側に

よりホットなシグナルを送り、ゲインが増すように入力レベルを上げることも可能です。

LO/HI: LO/HIスイッチはGAINサーキットに組み込まれており、2つの異なるタイプのゲインと歪み具合を調整します。LOはクランチクリップコードに最適なミディアムゲインのソロサウンドとなっています。HIは歪みが上がり、非常にヘヴィーなロック/メタル系のバックングや、熱くくすぐるような単音のリードに適したサウンドとなります。LOモードでBOOSTをバイパスすると、ローゲインからミディアムゲインのサウンドに最適のバランスとなります(このマニュアル後半のBOOSTのセクションもご参照ください)。低域と高域のバランスはより同調した状態となり、よりスイートでダイナミックなサウンドを作り出します。HIモードでBOOSTを効かせてハイゲインをかければ、よりヘヴィーなスタイルにピッタリの轟く雷鳴のような低域となります。

GAIN: このコントロールでシグナルのゲインを調節します。

Low(8:00-10:30)に設定すると、ソフトで少しこもった、繊細なオーバードライブとなりますが、この種のサーキットに特有のクラシックで中域にパンチの効いた音となります。この設定はリズムサウンドにぴったりなほか、ブルースのソロサウンドにちょっとした刺激を与えてくれます。

Middle(10:30-1:30)設定は、最も使い勝手の良いゲイン設定で、歪みつつも、各音を表情豊かで、かつタイトに保つ、ダイナミックなパンチが効いた音となります。これは幅広いジャンルにおいてリズム、ソロのどちらにも適したサウンドです。

GAINコントロールをHigh(1:30-5:30)に合わせると、厚みのある歪みが得られます。エクストリームロック、メタル等のヘヴィーなスタイルならば、迷わずこの設定がおすすめとなりますが、単音ソロでの強力なサステインも見逃しません。

MID-CUT: 通常のプレントタイプのTONEコントロールの他に、THROTTLE BOXにはEQカーブがBoogieの伝統的なV字型になるような中域設定のMID CUTコントロールが搭載されています。この調節機能は、MESAアンプの強力なEQ機能を長年に渡って使用してきた数多くのアーティスト達がヘヴィーなサウンドを表現するにあたって必須のものとなっています。このコントロールには、通常のToneコントロールとは真逆の効果があります。コントロールを上げていくと、カット量が増え、中域がより大きくカットされた音となります。これを最大まで上げると、シグナル上の中域はほぼ皆無となります。

TONE: このコントロールは通常、TREBLEとBASSのコントロールがない装置に搭載されています。非常にシンプルで、全周波数域に対する調節を1つのコントロールで行うものですが、聞いた感じとしては、特に高域でその効果が顕著かもしれません。センターに設定するとフラットなセッティングとなり、高域がブーストもカットもされていない状態となります。これをセンターより上げていくと、高域が幅広くブーストされた状態となります。逆にセンターより下げていくと、同じく広い範囲で高域がカットされていきます。

BOOST: この製品のみにも備わったもう一つの機能として、ON/OFF切替の可能なBOOSTがあります。これはプレイヤーの好みに応じてEQカーブをさらにシャープにするものです。本体下側のカバーを外すと、電池ボックスの端、サーキットボードの右下隅に、黒いDIPスイッチがあります(本体の下側が手前、ノブが奥側にある状態で見てください)。このレバーはサーキットボードと同一平面上にあり、ライトを当てるとはっきりそこにあることが分かります。電池を取り外すと、スイッチの操作が容易になります。

このスイッチを操作する際には、電池交換時同様、裏蓋のプラスねじ4本を外してください。スイッチを右側/外側(ノブが奥側にある状態で見えた場合)にセットすると、BOOST

がONになり、ゲインと低域がブーストされた状態となります。この製品は、BOOSTがONの状態出荷されます。スイッチが左側に入った状態だと、BOOSTがOFFになり、よりバランスのとれたサウンドとなります。

ヘヴィーなハイゲインサウンドを得るには、BOOSTがONになった状態がおすすめです。ローゲインからミディアムゲインのサウンドであれば、スイッチがどちらに入った状態でも可能ですが、OFF状態の時の方がバランスのとれた低域となります。

NOTE: 工場出荷時はBOOSTがセットされた状態となっています。BOOSTとそれによる低域の強調された状態を解除するには、裏蓋を外し、サーキットボードの右下隅にある黒いDIPスイッチを左側(NORMAL)に合わせてください。

NOTE: BOOSTスイッチをセッティングしたら、使用前に裏蓋をはめ直してください。内部の電子部品の中には静電気に弱いものがあるため、カーペット等の柔らかい表面との接触によって生じるわずかな静電気でもダメージを受ける可能性があります。電池交換後、スイッチ調整後は、使用前に必ず裏蓋をはめ直すようにしてください。裏蓋を外してスイッチ切り替えを行い、BOOST状態とNORMAL状態の比較を行う場合は、本体を天地逆にしてご使用ください。決して裏蓋を外したまま、電源が入った本体をコントロールボタンが上にくる状態で置かないでください。

AC POWER: 外部電源用のDCジャックに、標準的な9V ACアダプターのプラグを接続して電源を供給します。壁コンセント式AC電源からのプラグを差し込めるようになっています。ユニバーサル電源(マルチアウトプットのペダルボード用電源)を使っているペダルボードに当製品を接続して使用する場合は、ここに外部電源をつないでください。内部電池への接続は自動的に遮断されます。長期に渡って電池を使用しない場合、たとえばペダルボード上に完全に取り付けってしまった場合などは、長期放置による電池腐蝕などのダメージを避けるためにも、電池を取り外しておくことをお勧めします。

INTERNAL BATTERY: 当製品は9V電池または標準的な9V ACアダプターでの使用が可能です。楽器店ですぐに試奏やデモンストレーションが行えるように、工場からは長寿命9V電池同梱で出荷されます。

NOTE: 内部電池は、インプットジャックのスイッチ切替機能でON状態(電圧がかかった状態)になります。電池を長持ちさせるためには、製品を使用していない時はケーブルをインプットジャックから抜いておくようにしてください。

BATTERY REPLACEMENT: 電池のチェック、交換、取り外しの際には、外部電源ジャックの接続を切り、裏蓋の四隅を留めているプラスねじ4本を外してください。電池/端子の向きを確認して、交換後も同じ向きになるようにしてください。

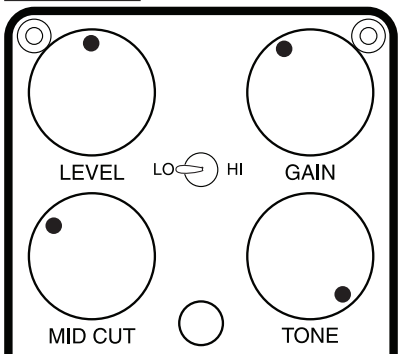
NOTE: 9V電池ならばどのようなものでも使用が可能です。マンガン電池、アルカリ電池だけでなく、充電式のニッケルカドミウム電池もご使用可能です。エフェクターマニアな方の中には、一般的なマンガン電池ならではのスイートな音を好む方もいますが、当製品に関しては、プレイヤーの好みに合わせて自由にお選びいただくことが可能です。

SPECIFICATIONS:

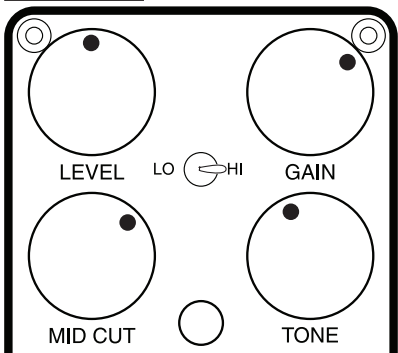
- ・ 寸法 (W/D/H): 2.87" x 4.77" x 2.28" (73mm x 122mm x 58mm)
- ・ 重量: 電池込みで0.865lbs(393g)、電池抜きで0.765lbs(347g)
- ・ トゥルーバイパススイッチ
- ・ 電池: 9V DC (x1)
- ・ 消費電力: 9V DC/25mA
- ・ ACアダプター (市販品をご使用ください): Power Jack 2.1mm x 5.5mm, 9V DCセンターマイナス
- ・ 入力インピーダンス: 1M Ohm (最小500k Ohm)
- ・ 出力インピーダンス: 10k Ohm

SAMPLE SETTINGS:

TIGHT CRUNCH

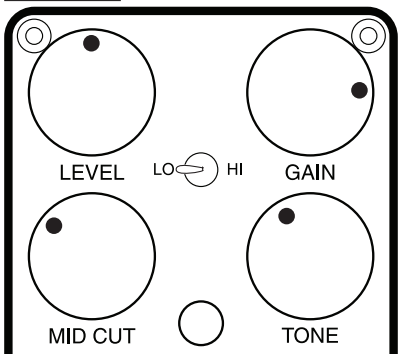


MODERN DRIVE

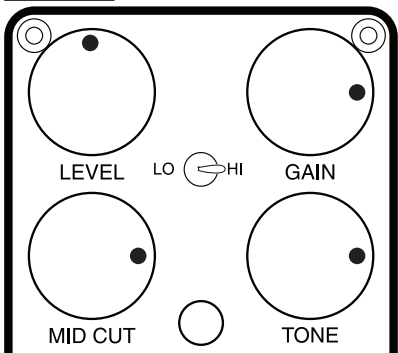


SAMPLE SETTINGS:

LIQUID SOLO



HEAVY GAIN



MESA/BOOGIE.

The Spirit of Art in Technology



ギブソン・ブランズ・ジャパン株式会社

Email: service.japan@gibson.com

「@gibson.com」からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします
お電話でのお問い合わせ窓口：0120-189433（通話料無料）
受付時間 9:30 - 17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）